



2021年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6090 URL https://humanmetabolome.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 克仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 大畑 恭宏 TEL 03-3551-2180
 定時株主総会開催予定日 2021年9月25日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2021年9月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の連結業績（2020年7月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	1,124	0.5	39	-	59	-	58	-
2020年6月期	1,118	-	△17	-	△16	-	△47	-

(注) 包括利益 2021年6月期 53百万円 (-%) 2020年6月期 △49百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	9.87	9.86	5.1	3.8	3.5
2020年6月期	△8.15	-	△4.3	△1.1	△1.5

(参考) 持分法投資損益 2021年6月期 -百万円 2020年6月期 -百万円

(注) 1. 2019年6月期は決算期変更により15ヶ月決算となっておりますので、2020年6月期の対前期増減率については記載していません。

2. 2020年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	1,623	1,260	72.3	198.88
2020年6月期	1,538	1,215	72.6	189.48

(参考) 自己資本 2021年6月期 1,173百万円 2020年6月期 1,117百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	△34	△25	86	1,245
2020年6月期	184	△34	22	1,219

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年6月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2022年6月期の連結業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	6.8	100	154.9	100	68.7	100	72.4	16.95

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期	5,900,300株	2020年6月期	5,895,800株
② 期末自己株式数	2021年6月期	112株	2020年6月期	112株
③ 期中平均株式数	2021年6月期	5,896,304株	2020年6月期	5,861,730株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2021年8月24日（火）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後遅滞なく、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
生産、受注及び販売の状況	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年7月～2021年6月)における我が国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、都市部等を中心に3度にわたり緊急事態宣言が発出される等厳しい状況となりました。2021年に入り徐々にワクチン接種が進み、景気回復の進む欧米・中国等での海外需要を背景とした需要の増加が一部の産業では回復の追い風になっていますが、国内における個人消費等はまだまだ十分な回復には至っていない状況です。

当社グループが属するライフサイエンス業界においては、新型コロナウイルス感染症対策としての治療薬・ワクチン等の開発に加え、免疫力向上等の感染症予防を促進するための機能性表示食品開発といった健康管理へのニーズの高まりを受けた研究開発が増加傾向になっています。一方で新型コロナウイルス感染症の影響により治験が遅延することや、研究施設等への入所制限等により、研究開発ニーズに対して十分な対応ができない状況も一部では散見されました。

このような状況の中、当社グループではWebを活用した営業活動を精力的に行うことでメタボロミクス事業の受注拡大を図るとともに、営業効率の向上及び一般管理費の削減にも取り組みました。当連結会計年度は大型のヒト試験等の研究計画の遅延等の影響を受け、予定していた受注の延期等が発生し、受注は前連結会計年度より減少いたしました。前連結会計年度受注残の売上計上に加え、アカデミア分野では研究開発の増加により受注・売上ともに増加したため、当連結会計年度の売上は微増となりました。

バイオマーカー事業においては引き続き大うつ病性障害(以下「うつ病」といいます。)バイオマーカーの事業化に向けた研究開発を継続するとともに、新規事業開発等にも継続して取り組みました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、1,124,067千円(前年同期比0.5%増)となりました。一般管理費削減等に努めた結果、当連結会計年度の営業利益は39,368千円(前年同期は17,039千円の損失)、経常利益は59,503千円(前年同期は16,502千円の損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は、58,214千円(前年同期は47,794千円の損失)と増収増益となり、2014年3月期以来の黒字化を果たすことができました。なお当社は当連結会計年度より繰延税金資産を計上しております。

	2020年6月期	2021年6月期
売上高	1,118,495千円	1,124,067千円
営業利益又は営業損失(△)	△17,039千円	39,368千円
経常利益又は経常損失(△)	△16,502千円	59,503千円
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△47,794千円	58,214千円

セグメント別には、次のとおりであります。

<メタボロミクス事業>

	2020年6月期	2021年6月期
売上高	1,114,180千円	1,119,593千円
(内国内売上高)	933,727千円	926,362千円
(内海外売上高)	180,453千円	193,230千円
セグメント利益	457,128千円	423,485千円

国内においてはアカデミア分野と食品分野での売上が増加いたしました。一方で化粧品等の化学分野、製薬分野では研究開発の遅延の影響を受けました。海外においては米国事業売上はアカデミア分野や、創薬ベンチャー、クリーンミート開発企業等からの受注が増加し、売上も堅調に推移しました。新型コロナウイルス感染症による度重なるロックダウン等により欧州事業売上が減少しましたが、海外売上全体としては増加となりました。なお欧州事業は2021年4月に開示いたしました通り閉鎖することを決定し、現在現地法に基づく閉鎖に向けた手続きを進めております。この結果、売上高は1,119,593千円(前年同期比0.5%増)となりました。一方セグメント利益は、設備増強に伴う減価償却費及び新サービス売上増加に伴う外注費の増加等で、売上原価が増加したことにより減少し、423,485千円(前年同期比7.4%減)となりました。

＜バイオマーカー事業＞

	2020年6月期	2021年6月期
売上高	4,314千円	4,474千円
(内国内売上高)	4,208千円	4,474千円
(内海外売上高)	106千円	－千円
セグメント損失(△)	△160,824千円	△70,632千円

当事業セグメントにおいては、PEA（うつ病バイオマーカー）の共同研究や測定メソッドの開発及び軽度認知障害バイオマーカーの共同研究等を効率的に継続しました。また、新規事業開発等にも継続して取り組みました。

この結果、売上高は4,474千円（前年同期比3.7%増）、セグメント損失は効率的な研究開発経費支出に努めた結果、70,632千円（前年同期は160,824千円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,456,893千円となり、前連結会計年度末に比べ45,589千円増加しました。これは、満期保有目的債券の満期解約により有価証券が100,000千円、大型の前連結会計年度末仕掛品が当連結会計年度に売上計上されたことにより27,814千円減少しましたが、現金及び預金が126,026千円、売掛金が82,603千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は166,276千円となり、前連結会計年度末に比べ39,434千円増加しました。これは、当連結会計年度より繰延税金資産を認識したことにより28,200千円、工具、器具及び備品が23,659千円及びリース資産44,874千円が増加しましたが、減価償却累計額も49,493千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は317,327千円となり、前連結会計年度末に比べ17,214千円増加しました。これは未払法人税等が22,348千円、未払金が20,984千円、その他に含まれる未払消費税等が49,378千円減少しましたが、資本コストの低下を目的とした銀行からの短期借入金100,000千円、新人事制度導入に伴う賞与引当金36,985千円及び欧州子会社の閉鎖に伴う引当金16,302千円の計上により増加したためであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は45,712千円となり、前連結会計年度末に比べ22,944千円増加しました。これは、設備投資に伴いリース債務が23,254千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,260,129千円となり、前連結会計年度末に比べ44,864千円増加しました。これは、新株予約権が11,428千円減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益58,214千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ26,026千円増加し、1,245,050千円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは34,171千円の支出となりました。これは主に税金等調整前当期純利益50,949千円を計上し、たな卸資産資産が35,842千円及び前払費用20,977千円が減少しましたが、主に売上債権の増加82,120千円、前受金18,154千円の減少、未払又は未収消費税等38,685千円の減少、法人税等の支払39,680千円の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは25,986千円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出26,584千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは86,218千円の収入となりました。これは短期借入金が100,000千円増加したこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

世界的な新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種の増加により抑制されていくと期待されておりますが、新規変異株の出現等による影響もあり、早期収束については不透明な状況となっております。世界経済全体は総じて景気回復傾向に向かうと予想されておりますが、景気回復に伴う金融引き締め等による影響も注視していく必要があります。当社が属するライフサイエンス業界は、このような環境下にあっても成長が見込まれる数少ない分野の一つとして研究開発投資が高水準で継続しており、また新型コロナウイルス感染症の影響によって遅延していた研究開発が徐々に再開することも予想され、今後も中長期的に一層の成長が見込まれると考えております。

このような状況のもと、当社グループではメタボロミクス事業において更なる事業拡大を図るため、新たな解析メニューの充実、営業体制の強化、解析生産性向上等オペレーショナル・エクセレンスの向上に取り組んでまいります。

バイオマーカー事業においては、予防・未病に寄与することを目指し、メンタルヘルス関連ビジネスの実用化・事業化を引き続き推進する他、新規にヘルスケア分野に注力したソリューション事業の創出に取り組んでまいります。

次期の売上高については、主力であるメタボロミクス事業において、新メニュー拡充等による受託解析の拡大を見込んでおり、適切なコストコントロールによる利益拡大に努めてまいります。

なお、為替レートは、1米ドル105円を見込んでおります。

	2021年6月期（実績）	2022年6月期（見通し）
売上高	1,124百万円	1,200百万円
営業利益	39百万円	100百万円
経常利益	59百万円	100百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	58百万円	100百万円
米ドル平均レート	106.57円	105.00円

(注) 当社グループの主力事業であるメタボロミクス事業は、医療機関・研究機関を中心とした多くの顧客の年度末に納期が集中することから、売上高が当社第3四半期（1月～3月）に偏重する事業特性を有しております。従って、業績管理は年次で行っており、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績予想については投資家へ提供する情報としての適切性・有用性に問題が生じるおそれがあるため、業績予想は通期のみ記載しております。

[新型コロナウイルス感染症の影響について]

新型コロナウイルス感染症による当連結会計年度業績への影響は軽微でした。

今後の状況につきましては、現在の感染状況に鑑みますと特に第2四半期までは学術講演会の中止・延期による営業活動の停滞、測定試料の入手遅れによる売上計上遅延等マイナスの影響も考えられますが、以降はこれまで遅延していた研究開発の再開も期待されます。全体としては影響は軽微と考えております。

新型コロナウイルス感染症の更なる拡大を考慮し、業績への影響については引き続き注視してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、将来のIFRS適用に備え、社内外の動向や当社グループへの影響等について調査を行い、その適用時期等についての検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,119,023	1,245,050
売掛金	66,035	148,638
有価証券	100,000	—
商品	26,106	21,848
仕掛品	31,852	4,038
原材料及び貯蔵品	12,679	8,909
その他	56,686	28,407
貸倒引当金	△1,080	—
流動資産合計	1,411,304	1,456,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,407	20,260
工具、器具及び備品	357,689	381,349
車両運搬具	317	317
リース資産	178,670	223,544
減価償却累計額	△448,607	△498,100
有形固定資産合計	108,476	127,370
無形固定資産		
投資その他の資産	6,669	4,689
繰延税金資産		
繰延税金資産	—	28,200
その他	11,695	6,015
投資その他の資産合計	11,695	34,216
固定資産合計	126,841	166,276
資産合計	1,538,146	1,623,170
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,311	270
短期借入金	—	100,000
リース債務	9,787	19,508
未払金	80,422	59,438
未払法人税等	38,227	15,879
賞与引当金	—	36,985
関係会社整理損失引当金	—	16,302
資産除去債務	4,042	—
その他	159,320	68,943
流動負債合計	300,112	317,327
固定負債		
リース債務	9,940	33,195
繰延税金負債	436	—
資産除去債務	12,390	12,517
固定負債合計	22,768	45,712
負債合計	322,880	363,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,100	1,481,600
資本剰余金	1,468,816	1,470,317
利益剰余金	△1,848,937	△1,790,722
自己株式	△143	△143
株主資本合計	1,099,835	1,161,051
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,303	12,379
その他の包括利益累計額合計	17,303	12,379
新株予約権	98,126	86,698
純資産合計	1,215,265	1,260,129
負債純資産合計	1,538,146	1,623,170

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,118,495	1,124,067
売上原価	261,773	318,048
売上総利益	856,721	806,019
販売費及び一般管理費	873,761	766,650
営業利益又は営業損失(△)	△17,039	39,368
営業外収益		
受取利息及び配当金	81	125
補助金収入	2,070	16,382
為替差益	784	4,883
その他	172	829
営業外収益合計	3,108	22,220
営業外費用		
支払利息	420	1,538
解約違約金	2,065	—
その他	84	546
営業外費用合計	2,570	2,085
経常利益又は経常損失(△)	△16,502	59,503
特別利益		
新株予約権戻入益	6,008	14,596
固定資産売却益	—	850
特別利益合計	6,008	15,446
特別損失		
減損損失	14,050	885
関係会社整理損	—	23,115
特別損失合計	14,050	24,000
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△24,543	50,949
法人税、住民税及び事業税	24,230	21,372
法人税等調整額	△979	△28,637
法人税等合計	23,251	△7,264
当期純利益又は当期純損失(△)	△47,794	58,214
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△47,794	58,214

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△47,794	58,214
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,233	△4,923
その他の包括利益合計	△1,233	△4,923
包括利益	△49,028	53,290
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△49,028	53,290
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,462,191	1,450,908	△1,801,142	△67	1,111,889	18,537	18,537	84,017	1,214,444
当期変動額									
新株の発行	17,908	17,908			35,817				35,817
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△47,794		△47,794				△47,794
自己株式の取得				△76	△76				△76
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△1,233	△1,233	14,109	12,875
当期変動額合計	17,908	17,908	△47,794	△76	△12,053	△1,233	△1,233	14,109	821
当期末残高	1,480,100	1,468,816	△1,848,937	△143	1,099,835	17,303	17,303	98,126	1,215,265

当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,480,100	1,468,816	△1,848,937	△143	1,099,835	17,303	17,303	98,126	1,215,265
当期変動額									
新株の発行	1,500	1,500			3,001				3,001
親会社株主に帰属する当期純利益			58,214		58,214				58,214
自己株式の取得				—	—				—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△4,923	△4,923	△11,428	△16,351
当期変動額合計	1,500	1,500	58,214	—	61,215	△4,923	△4,923	△11,428	44,864
当期末残高	1,481,600	1,470,317	△1,790,722	△143	1,161,051	12,379	12,379	86,698	1,260,129

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	△24,543	50,949
減価償却費	47,965	55,846
減損損失	14,050	885
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	16,302
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	36,985
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,080	△1,080
受取利息及び受取配当金	△81	△125
支払利息	420	1,538
為替差損益 (△は益)	△784	△4,883
補助金収入	△2,070	△16,382
株式報酬費用	24,122	3,167
新株予約権戻入益	△6,008	△14,596
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△850
売上債権の増減額 (△は増加)	3,878	△82,120
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,807	35,842
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,257	△8,041
前払費用の増減額 (△は増加)	△28,155	20,977
未払金の増減額 (△は減少)	18,479	△21,044
未払費用の増減額 (△は減少)	25,190	△23,226
前受金の増減額 (△は減少)	49,462	△18,154
未払又は未収消費税等の増減額	48,212	△38,685
その他	17,003	△2,775
小計	180,672	△9,470
利息及び配当金の受取額	77	135
利息の支払額	△420	△1,538
補助金の受取額	2,070	16,382
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	1,675	△39,680
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,075	△34,171
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,842	△26,584
無形固定資産の取得による支出	—	△1,285
資産除去債務の履行による支出	—	△3,350
敷金の回収による収入	—	5,233
その他	△94	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,937	△25,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
株式の発行による収入	31,812	3,001
リース債務の返済による支出	△9,637	△16,783
自己株式の取得による支出	△76	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,098	86,218
現金及び現金同等物に係る換算差額	△638	△33
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	170,598	26,026
現金及び現金同等物の期首残高	1,048,424	1,219,023
現金及び現金同等物の期末残高	1,219,023	1,245,050

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(報告セグメントの概要)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、CE-MS法によるメタボローム解析技術を基盤に事業を展開しており、そのサービス、製品、収益モデル等を勘案し、報告セグメントを「メタボロミクス事業」、「バイオマーカー事業」としております。

「メタボロミクス事業」では、顧客から受領した測定試料をメタボローム解析し、結果を報告する受託解析サービスの提供を、「バイオマーカー事業」では、疫病の客観的な指標や早期発見につながるバイオマーカーの開発や検査法の開発を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メタボロミクス事業	バイオマーカー事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,114,180	4,314	1,118,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,114,180	4,314	1,118,495
セグメント利益又は損失(△)	457,128	△160,824	296,304
セグメント資産	315,423	107,929	423,352
その他の項目			
減価償却費	40,140	124	40,265
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	21,381	9,149	30,530

当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		
	メタボロミクス事業	バイオマーカー事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,119,593	4,474	1,124,067
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,119,593	4,474	1,124,067
セグメント利益又は損失(△)	423,485	△70,632	352,853
セグメント資産	355,632	2,442	358,075
その他の項目			
減価償却費	51,451	56	51,507
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	71,405	485	71,890

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	296,304	352,853
全社費用 (注)	△313,344	△313,484
連結財務諸表の営業利益又は営業損失 (△)	△17,039	39,368

(注) 全社費用は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等であります。

(単位: 千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	423,352	358,075
全社資産 (注)	1,114,793	1,265,094
連結財務諸表の資産合計	1,538,146	1,623,170

(注) 全社資産は、主に各報告セグメントに配分していない現金及び預金、有価証券等であります。

(単位: 千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額 (注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	40,265	51,507	6,857	4,338	47,123	55,846
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	30,530	71,890	4,812	2,402	35,343	74,293

(注) 1. 減価償却費の調整額と有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない東京事務所の共用資産に係るものであります。

2. 報告セグメントの減価償却費は、売上原価及び一般管理費に配賦されております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	その他	合計
937,936	180,559	1,118,495

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. その他に属する国又は地域は、北米、南米、欧州及び本邦を除くアジア太平洋地域であります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	その他	合計
930,837	193,230	1,124,067

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. その他に属する国又は地域は、北米、南米、欧州及び本邦を除くアジア太平洋地域であります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メタボロミクス事業	バイオマーカー事業	計
減損損失	—	14,050	14,050

当連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メタボロミクス事業	バイオマーカー事業	計
減損損失	456	428	885

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	189.48円	198.88円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△8.15円	9.87円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	9.86円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株あたり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失金額(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△47,794	58,214
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益又は親会社株主に帰属する当期純損 失(△)(千円)	△47,794	58,214
普通株式の期中平均株式数(株)	5,861,730	5,896,304
潜在株式調整後1株あたり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	6,687
(うち新株予約権行使による増加数(株))		6,687
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額の算定に含まれな かった潜在株式の概要	—	第10回新株予約権(新株予約 権510個)、第11回新株予約 権(新株予約権370個)、第12 回新株予約権(新株予約権 170個)、第13回新株予約権 (新株予約権355個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	
	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボロミクス事業	1,920	36.6
合計	1,920	36.6

- (注) 1. 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額は、メタボロミクス事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。
 3. その他メタボロミクス事業及びバイオマーカー事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため記載しておりません。

② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	
	仕入高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボロミクス事業	17,976	109.2
合計	17,976	109.2

- (注) 1. 金額は、仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額は、メタボロミクス事業のうち、限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。
 3. その他メタボロミクス事業及びバイオマーカー事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため記載しておりません。

③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボロミクス事業	996,967	85.0	199,325	61.9
バイオマーカー事業	4,474	103.7	3,000	100.0
合計	1,001,442	85.1	202,325	62.3

- (注) 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	
	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボロミクス事業	1,119,593	100.5
バイオマーカー事業	4,474	103.7
合計	1,124,067	100.5

- (注) 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。